

めいわ かわら版



は ち や し げ ゆ き
理事長 **八谷 重之**

2 020年、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス。理事長の八谷重之さんは、新型コロナウイルスの対策に翻弄された1年だったと語ります。職員や利用者を守るための徹底的な対策と、今後の展望について伺いました。

—— 感染防止にどのような対策を行いましたか。

集団生活では、一人でも感染者が出ればクラスター化するリスクと常に隣り合わせ。厳しすぎるぐらいの予防策を取らなければと、早い段階から医療の専門家に相談して対策を始めました。専門家からの信頼性の高い情報を、スタッフや利用者、その家族へ周知することができ、安心感を与えられたと思います。

デイサービスの送り迎えを行う車は、運転席と後部座席の間にビニールを張り、車内の消毒も徹底。利用者のご家族にも、家を出る前の検温や健康状態の把握をお願いしました。施設に到着してからも、午前と午後の2回検温を行い、職員は全員手袋とマスクを装着し、触るものの全てを消毒。加えて水分補給や加

いので、まずは、少しでも気になることがあったら声をかけてください。

感染防止のため、いち早く対策を立て現場を守った八谷理事長。アフターコロナも見据え、世の中の変化に常にアンテナを張り巡らせ、時代の流れに柔軟に対応してきました。2021年も、利用者と職員のために挑戦を続けていくことでしよう。



明和苑デイサービスの利用者が作りました。

湿、栄養や睡眠をしつかりとって日常生活でも免疫を高めてもらうなど、実行した対策は多岐にわたります。

先日、保育園の関係者から感染者が出てしまったのですが、園内20人の職員はPCR検査で陰性でした。危機感を持って対応してくれたおかげです。

—— 現在行っている対策の他に、この先気をつけていきたいことはありますか。

精神面のケアが課題です。ソーシャルディスタンスという言葉がありますが、こんな時こそ必要なのは人と人との関わり合い。フィジカルの部分では距離を取るべきですが、マインドの部分では距離を取るべきではないと思うのです。現場でも、人と会えない日々が続いて刺激が減ったせいか、介護を必要とする方や認知症の方の症状が進行しているように感じます。

—— 行事や面会などは、どのようにされていたのでしょうか。

職員も利用者も、人との関わりが

減り、何の変化もない毎日を送るのは辛いでしょう。だからこそ、行事はなるべくないようにしています。子どもから大人まで楽しみにしていることを取り上げるわけにはいきません。それに、すべて中止になってしまえば、2020年4月に入った職員は、行事のスキルやノウハウがないままになってしまいます。感染予防対策を取った上で、いつもと形が異なっても、卒園式や入園式、発表会など、例年行っている行事はできる限り開催しました。

面会については、Zoomを利用した遠隔面会を行っています。この機会に新しいものに挑戦して、時代の流れに乗っていくべきかと思い、導入を決めました。そのために、園内全てにおいてWi-Fiを使えるようにしています。最近では大学の講師も遠隔で依頼されます。最初の依頼は2週間ほどしか準備期間がなく、初回授業はミスを連発。それでも慣れてしまえば案外使いやすいと、今では内部の施設長会議や研修、他団体との打ち合わせも、日常的に遠隔で行うほどになりました。

—— 今後の展望を教えてください。

福祉従事者は医療従事者同様に、

新型コロナウイルスの対応で注目度が高くなっています。今後社会保険費の確保が重要な課題となることも予想されます。福祉の現場としての目的と方法を明確にして、胸を張って説明義務を果たせるような仕事をしたいといけません。研修も形を変えてできるはずですし、感染予防と同じで基本的なことから職員一丸となって積み重ねていける職場にしていきたいと考えています。

最近福祉の仕事に興味を持つ人も増えていますが、意欲はあっても経済的な理由で進学や資格取得ができない人も多く、そんな人たちを応援する仕組みを考えているところです。現場は有資格者の集まりなので、学びに来た人を未来の戦力として育ててくれたら、結果的に現場全体が生き生きとしてくるのではないのでしょうか。仲間を増やして皆で取り組みれば早く仕事が片付き、気持ちも増えます。資格の有無や新人、ベテランも関係なく、気付いたことはすぐに言っしてほしいし、それで大きな事故を防げるかもしれません。

何かを発言する時に耳を傾ける人がいる。そんな相談しやすい雰囲気作りも今後の課題です。私自身、悩みを相談されるのは嫌いではな

<企業情報>

社会福祉法人明和会

■法人認可：1966年11月

■事業活動収入：22億円

※2020年6月時点

■問い合わせ先：0538-42-3228





あけましておめでとうございます!
いよいよ2021年の幕開けです。今回は、皆さんに新年の抱負を語っていただきました!

袋井学園
施設長

いけの まさみ
池野 正美さん

- 1 利用者様、職員が健康で穏やかに過ごすことができればと思います。ピンチをチャンスに変える発想や実行ができるようにしたいと思います。
- 2 健康を意識した生活習慣を心がけます。そして、労災二次検診を回避します。

めいわ月見保育園
園長

おおし きとみ
大石 里美さん

- 1 明るい挨拶が飛び交い、子ども達、保護者の方、職員、みんなが笑顔で過ごすことができる保育園。職員同士、何でも相談することができ、子ども達をたくさん褒めて、一人ひとりを大切にする、思いやりがあふれる保育園を目指します。
- 2 元気な挨拶で、さわやかな一日のスタート。早寝早起き、テレビ体操で健康な生活を送ります。

質問内容

- ①2021年、拠点(もしくは部署)をどのようにしていきたいとお考えですか?
- ②プライベートでの2021年の目標もお聞かせください!

明和からす森デイサービスセンター
所長

すずき みちよ
鈴木 美智代さん

- 1 あけましておめでとうございます。土曜日の開所も軌道に乗り始め、利用者様の数も増えたため、情報の収集・共有、そしてそれをいかに生かすのが課題となっています。利用者様に寄り添いながら2021年の干支の丑のようにゆっくりと余裕をもって力強く一歩ずつ丁寧に歩みを進めて行きたいと思っています。
- 2 こんな体形ですが健康と体力には自信があります。維持するためにウォーキングの継続をしています。今年もよろしくお願い致します。
※この写真は元写真部の男性利用者様に撮っていただきました。でき栄えはどうか?

オランチ
責任者

やしほ けい
矢代 啓さん

- 1 オランチは「心も体も健康で暮らせる場と支援を提供する」という施設ミッションを掲げています。今も続くコロナ禍において、グループホームという形態上、課題も多いですが利用者の皆さんが安心して生活を送ることが出来るよう、職員一同、日々支援を行なっています。2021年、このような時代だからこそ、新たなチャレンジや支援の工夫をもって職員一丸となり利用者の皆さんの生活をサポートしていきたいと考えています。
- 2 2021年は丑年です。丑年には「我慢・発展の前触れ」といった意味があるそうです。耐え忍びながらも、明るい未来にむけて地道に突き進みたいと思います。ギュー〜と内容の濃い一年を送りたいと思います。

明和ふかみの家・明和ふかみの里・
明和ふかみの里デイサービスセンター 施設長

くぼの よしのり
窪野 良則さん

- 1 今年は介護報酬を伴う介護保険制度改定の年です。大幅な変更が懸念され利用者様にとっても事業所にとってもとても厳しい状況になりそうです。加えて感染症等まだまだ心配事が尽きない状況です。ふかみでは利用者様に笑顔になっていただけるよう、また笑顔で帰っていただけるよう支援しています。「笑い」は認知症状の緩和にも効果があり、生活の質を上げる第一歩です。「笑いが絶えない」施設づくりを職員全員で取り組んでいきます。
- 2 新しいコトへの挑戦…こここのところ「年だから…」と年齢のせいにする自分がいます。これでは何も進みません。新たな気持ちで新しいことにチャレンジします。スマートに生きる…社会の荒波にもまれながら「輝く男」になります。

明和苑
副苑長

すずき みほこ
鈴木 美保子さん

- 1 明和苑の職員として誇りを持ち、各部署間の【報・連・相】をしっかり行ない、透明性且つ、連携のとれた職場にしていきたい。【利用者様第一】を常に念頭に置き、職員が働き易く、お互いが職場に限らず、社会人としての立場を思いやり、常識ある判断や行動ができる職員となるよう、職員一人ひとりにしっかり目を向けていきたい。新人職員には【石の上にも三年】中堅職員には【切磋琢磨】ベテラン職員には【修己治人】の言葉を伝えていきたいと思います。
- 2 飛行機乗りた〜い!山にも登りたい。海にも潜りたい。温泉に入っのんびり・まったりしたい。そんな妄想ばかり考えて毎日を送っています。まずは健康第一!コロナが一日も早く終息することを願っています。

ワークスつばさ
所長

はぎわら しょうじろう
萩原 章治郎さん

- 1 利用者様が毎日楽しく通いたくなる施設、それを職員が上手にサポートし仕事をしたくなる施設でありたいと考えています。そのために、様々なアイデアを出し合い、活発なコミュニケーションが取れる施設を目指したいと思います。また、引き続き工賃アップのために皆が健康で安心・安全に活動ができる施設運営をしていきます。
- 2 バスケットボールの全国制覇(ゴールデンシニア部門)を目標としています。そのため、日々健康な身体づくり、体力づくりをして実現したいと思います!

めいわ可睡保育園
園長

とくなが ようこ
徳永 洋子さん

- 1 子ども達、保護者そして職員の笑顔があふれる保育園を目指しています。2020年は、新型コロナウイルスに翻弄された年となりました。想定外の事態に直面し、どうしたら安心・安全な保育が展開できるだろうかと、様々な方面から試行錯誤した日々でした。そのような中、毎日のこまめな消毒、換気が重要であると実感しました。一つひとつの物事に丁寧に取り組む姿勢を大切に「おはよう」「さようなら」の笑顔のあいさつがいつまでも続く保育園でありたいと願います。
- 2 今年は丑年です。大地を踏みしめ、一步一步着実に歩んでいきたいと考えています。そのためには、まず健康第一です。日々の生活の中で、なるべく車を使用しないで歩くことを心がけ、体力づくりを行なっていこうと思います。いつまでも楽しく笑って過ごせることがいちばんの目標です。